

3年生 社会科「東西南北応援団」

3年生になり、「理科」と「社会科」が新しい学習として加わりました。そこで、最初の单元「墨田区の様子」を社会科を研究していた稲田副校長先生に師範授業として担当してもらいました。

まずは、地図の見方の学習です。方位を覚えるために校舎と結び付けながら、東西南北について学びました。校庭の中央で副校長先生のかげ声に合わせて



「東」「西」「南」「北」と全身を使って指し示す、「東西南北応援団」になりきっていた子供たちです。楽しそうにかつ真剣に動いている子供たちを見ていると、こちらの方が思わず応援したくなるほど微笑ましい光景でした。

「地図記号ビンゴ」

地図記号についてひと通り学んだ後、2週間かけて10回の「地図記号ビンゴ」を行います。

子供たちは、30種類の中からあらかじめ25の地図記号を選んでビンゴカードに記します。そして、一日の中のどこか5分間を利用してビンゴゲームを行います。副校長先生がランダムに言った地図



記号を聞いて、子供たちはビンゴカードに書いた地図記号をチェックしていきます。最後に引いたビンゴの線の数をそれぞれ発表します。6本程度は引けるそうですが、中には7～8本引ける子供がいて、「すごい！」と教室中が盛り上がるそうです。

身体を使った「方位」や、ビンゴを通して学んだ「地図記号」で、楽しく学習し覚えることができたことと思います。社会科における基礎的な知識を身に付けて、今後の学習も自信をもって取り組んでほしいと思います。

